



「神戸女学院の100冊」書評コンテスト

書評コメント

氏 名 盛園 彩雲 さん

学科・学年 総合文化学科 3 年

本の題名 『なぜ私だけが苦しむのか 現代のヨブ記』

本の分野 宗教学 分野

コメント：

まず当然のことではあるが、対象図書の言及・引用箇所の提示が大変適切に行われている。各章の要約を述べる際にも、表面的な要約に終わらず、対象図書を丁寧に読み込んだ上で、注意深く選ばれたキーワードを示しながら、評者自身の言葉で記している。本書評全体から、対象図書と書評の読者に対する評者の誠実さを感じられる。対象図書が扱うテーマに、評者自身が真摯に取り組んだことの表れであるだろう。

評者は、著者の主張を丁寧に追いつつ、その言葉を吟味し、自身の評価・意見を述べる。人間が「罪意識」を感じる構造の分析から、「人間の行動の選択権は人間自身にあるにも拘わらず、災いの原因が人間にあるとは限らない」と述べ、前者と後者が連動していないことへの気づきを鮮やかに提示する。

評者は、「悲劇の原因」を問うのではなく、悲劇を克服するための方法を問う必要があるとの著者の主張に寄り添いながらも、悲劇の渦中にある当事者にはそれが困難であることに注意を促す。そして、当事者が方法を問うために、周囲の人間こそが苦しみに寄り添う必要があることを、宗教儀礼の意義と喪の体験についての死生学の考察を展開しながら説く。

「なぜ私だけが苦しむのか」との著者の問いに丁寧に寄り添いながら、隣人としてなすべきことに読者の気づきを導く評者の言論は秀逸である。

担当者氏名 文学部 総合文化学科 准教授 大澤 香